

## はじめに



私たち人間は、水、空気、食べ物、温泉など自然や生き物の恵みを受け、時には火山活動や水害など自然の脅威とも相対しながら、地域の産業や文化を育み、豊かで健康な生活を営んでいます。また、多くの生き物もお互いに影響しあって、この鹿児島市に生息・生育しています。このように様々な自然の中で、多種多様な生き物がお互いにつながり、影響しあって個性豊かに生命を育んでいる状態を生物多様性と呼んでいます。

しかしながら、人間が物質的な豊かさや便利さを求めたことにより、森林や渚等の自然は減少し、生き物の絶滅のおそれを高め、また一方で人間や農作物などに被害を及ぼす外来の生き物が侵入するなど、生物多様性へ様々な影響が見られるようになっていきます。

また、かつて子どもたちは、近くの小川や山野でよく遊び、いろいろなことを体験することで、生命の尊さや躍動感、自然の営みといったものを日常的に感じたものでしたが、現代社会では、身近な自然の減少や生活様式の変化により、自然や生き物とのつながり、生物多様性の重要性について気づき、考えることが難しい状況を生み出しています。

世界では、生物多様性条約が1992年（平成4年）に採択され、我が国においても翌年に同条約を締結し、生物多様性国家戦略や生物多様性基本法を定め、様々な取組が進められています。

このような中、生物多様性についての理解を深め、これを保全し、持続可能な利用を図るため、鹿児島市生物多様性地域戦略を策定しました。

この戦略は、将来の世代に恵み豊かな自然をより良い状態で引き継いでいくための道しるべとして、生物多様性から見た2050年の望ましい将来像を展望し、2021年度（平成33年度）までに実行する具体的な取組をまとめたものです。

戦略の推進にあたりましては、行政はもとより、市民、事業者、市民活動団体等の皆様の積極的な参加と協力が欠かせませんので、趣旨をご理解いただき、一層のお力添えをお願い申し上げます。

終わりに、戦略の策定にあたり、熱心にご審議いただきました鹿児島市環境審議会、専門家会議及び生物多様性を語る会の皆様をはじめ、貴重なご意見やご助言をいただきました市民の皆様には厚くお礼申し上げます。

平成26年3月

鹿児島市長 森 博 幸



目次	I
----	---

## 第 1 章

<b>地域戦略策定にあたって ～今なぜ、生物多様性が～</b>	<b>1</b>
---------------------------------	----------

1 戦略策定の趣旨	2
2 策定の背景	3
(1) 生物多様性とは	3
(2) 生物多様性の恵み	5
(3) 世界で起きていること	7
(4) 生物多様性の重要性	9
3 地域戦略の姿	10
(1) 戦略の位置づけ	10
(2) 戦略の役割	10
(3) 対象区域	10
(4) 対象期間	10

## 第 2 章

<b>鹿児島市の現状と課題 ～私たちの暮らしと生物多様性の関わり～</b>	<b>11</b>
---------------------------------------	-----------

1 自然環境	12
(1) 位置	12
(2) 地史及び地形・地質	12
(3) 気候	14
(4) 火山活動	16
(5) 大気の現況	17
(6) 自然の現況	18
(7) 生き物の現況	28
(8) 外来生物	34
(9) 希少野生動植物	37
(10) 大切にしたい自然	39
2 社会環境	41
(1) 産業構造	41
(2) 人口動態	42
(3) 土地利用	43
(4) 生物多様性にふれ・学ぶ環境	46

<b>3 私たちの暮らし</b> .....	<b>50</b>
(1) 鹿児島市の歴史から見た生物多様性 .....	50
(2) 私たちの暮らしと生物多様性とのつながり .....	52
(3) 暮らしの変化 .....	56
<b>4 生物多様性の保全及び持続可能な利用上の課題</b> .....	<b>58</b>
(1) 開発などによる生息環境の消失 .....	58
(2) 人との関わりで形成された里地里山の機能の低下 .....	59
(3) 環境汚染や地域外からやってきた生き物による影響 .....	60
(4) 気温の上昇や環境変化による影響 .....	61
(5) 生活様式の変化による影響 .....	62
(6) 情報不足による影響 .....	63

## **第3章 戦略が目指すもの** .....

**65**

1 2050年の望ましい将来像 .....	66
2 2021年度の鹿児島市の姿 .....	73
3 取組の基本方針 .....	73
4 取組の基本姿勢 .....	73
5 取組を実施するにあたっての基本的視点 .....	74

## **第4章 行動計画** .....

**75**

<b>1 実行計画</b> .....	<b>76</b>
<b>【基本方針1】</b> 生物多様性を支える自然環境を保全・創造する .....	77
(1) 生き物の生息・生育の場を守り育む .....	77
(2) 生態系をつなげ機能を高める .....	83
(3) 評価されている自然を維持・保全する .....	84
(4) 生き物の生息・生育を脅かす要因を取り除く .....	85
<b>【基本方針2】</b> 生物多様性を支える人を育む .....	88
(1) 環境学習・環境教育を推進する .....	88
(2) 自然とふれあう .....	91
<b>【基本方針3】</b> 生物多様性を支える社会のしくみを整える .....	94
(1) 生物多様性の意味や価値を社会に浸透させる .....	94
(2) 生物多様性の保全活動を広げる .....	95
(3) 情報を集積し発信する .....	97
(4) 連携・協働により取り組む .....	99

2 重点プロジェクト	100
(1)「国際生物多様性の日」を契機とした普及啓発事業の展開	100
(2) 生物多様性保全スポット（仮称）の指定	101
(3) 生き物の生息・生育空間である自然環境の再生・創出	102

## 第5章 推進体制と進行管理 103

1 各主体の役割	104
(1) 市の役割	104
(2) 事業者の役割	105
(3) 市民の役割	106
(4) 市民活動団体の役割	107
(5) 教育・学習を行う者の役割	108
(6) 専門家の役割	109
2 進行管理など	110
(1) モニタリング調査	110
(2) PDCAサイクルの実施	110
(3) 推進体制	110
(4) 年次報告書の作成	110
(5) 進行管理	110
(6) 専門家との連携	111
(7) 国、県などとの連携	111
(8) 戦略の見直し	111

## 第6章 資料編 113

1 用語解説	114
2 生物多様性に関する法律等	124
3 鹿児島市に生息・生育する生き物写真集 植物編	126
鹿児島市に生息・生育する生き物写真集 動物編	128
4 愛知目標と国別目標	133
5 自然度の高い森林の分布状況	135
6 策定委員会などの開催経過と関係者名簿	136
7 事業者アンケートの結果	140
8 かごしま市生物多様性を語る会の開催経過	143



錦江湾の生き物に見る種 <small>しゆ</small> の多様性の大切さ .....	4
生き物に個性があるということ .....	4
生態系サービスの経済的価値の評価 .....	6
生き物は太陽を食べている .....	6
ネイチャーテクノロジー .....	9
海藻と海草 .....	30
アライグマとキノボリトカゲ、すぐ近くまで .....	35
特定外来生物：オオキンケイギク .....	36
知らない間にツバメが減っている .....	38
台、丘、田がつく地名 .....	43
春の七草、秋の七草 .....	53
桜島大根 伝統野菜と遺伝的多様性 .....	54
生き物にとって棲みにくい街 .....	58
童謡に見るふるさとの原風景 .....	59
外来の生き物による影響 .....	60
気候の変動により生き物の暮らしにも影響が、そして私たちにも .....	61
今の暮らしと昔の暮らし .....	62
誰も知らないうちに .....	63
セヴァン・スズキ 伝説のスピーチ .....	71
森林環境税とかごしまエコファンド、緑の募金 .....	80
生態系ネットワーク .....	82
ペットは最後まで大切につきあう .....	86
生物多様性の保全にかかわる主な認証制度 .....	96